

新型コロナウイルス感染症による偏見や差別等の現状(全国)

行動歴による偏見・差別

- 大学生がお盆に隣県の実家に帰省し、後日アパートに戻ったところ、玄関に生卵が投げつけられ、郵便受けの中に生卵が流し込まれていた。
- 県外に家族旅行に行った後、近所から感染者と決めつけられたり、子どもが通う学校の保護者から子どもを欠席させるよう苦情を受けた。
- 感染者が多い市から隣接市のスポーツ教室に通っていたところ、隣接市の保護者からの苦情があり、教室に通えなくなった。

インターネット上での誹謗中傷

- 感染者が発生したスポーツ教室の参加者が通う学校名や写真、複数の感染者が発生したという不確かな内容がSNS上で拡散された。
- 感染者とは全く関係のない人が感染者であるという誤った情報がインターネット上の掲示板等で拡散された。

医療従事者とその家族への偏見・差別

- 感染者が入院している総合病院のスタッフが、子どもの保育所の受け入れを断られたり、配偶者が職場から出勤停止を命じられたりした。
- 医療機関の職員の子どもが、同級生に「お前のお母さん、病院で働いてるんだろ。菌持ってくるんじゃない」と言われた。

高知県においても偏見・差別等の事例が発生しており、今後も同種の事案が発生することが懸念される。

新型コロナウイルス感染症による偏見や差別等の防止に関する取組(全国)

教育や啓発による偏見・差別等の防止

- 新型コロナによるいじめ防止に向け、教職員研修に活用する資料、児童生徒用の学習教材を作成・配布し、活用についての呼びかけを実施。
- 動画配信、テレビ・新聞・ラジオ広告、ポスター・リーフレットの作成など、偏見・差別防止等に向けた啓発の実施。

偏見・差別等の被害者に寄り添った対応

- 新型コロナによる偏見等の相談ダイヤルなど、児童生徒や保護者向けの相談窓口の設置や、人権侵害等に対しての法律相談窓口の設置。
- スクールカウンセラーによる電話やICT機器を活用したリモート相談の実施。児童生徒の心のケア等についてまとめた文書の配布。
- ネットパトロール等により、不適切な投稿を検知し、関係機関と連携しながら書き込みの削除要請の実施。

本県においても正しい知識の普及や偏見・差別防止の取組等を今後も継続して実施していくために、学校・保護者・関係機関との共通理解や、連携のあり方について確認する必要がある。